



読売EXPOレガシーフォーラム2025秋
ご提案書



MEET ME AT
EXPO 2025! /

2025年7月

読売新聞社

読売新聞社は「Better Co-Being」パビリオンのパートナーです

1

読売新聞社は、データサイエンティストの宮田裕章・慶應義塾大学教授がプロデューサーを務める「**Better Co-Being**」パビリオンに協賛し、新聞社としての新たな価値創出に挑んできました。

また、読売新聞グループのネットワークをフル活用し、読者や企業・団体などとの様々な共創を通じて、「Better Co-Being」の理解浸透・共感醸成にも取り組んできました。



2023年7月20日付 読売新聞朝刊

「Better Co-Being」パビリオンについて

～いのち 響きあう中で未来を描こう～

会場のシンボル「静けさの森」に溶け込むように屋根も壁もないパビリオンで、一人ひとりが互いにつながりながら、幸福に生きるウェルビーイングを実現する「Better Co-Being」をコンセプトに、データ共鳴社会の体験を提供します。

位置情報や行動ログ、生体、感情、環境、人流データなどを取得し、一人ひとりに寄り添う気づきの機会や行動の選択肢、リアルとバーチャルを超えた人とのつながりなどを提供することで、共創の機会が得られる未来社会を体験できます。



Better Co-Being

宮田裕章 慶應義塾大学教授

1978年生まれ。専門はデータサイエンス、科学方法論、Value Co-Creation。データサイエンスなどの科学を駆使して社会変革に挑戦し、現実をより良くするための貢献を軸に研究活動を行う。いのちを響き合わせて多様な社会を創り、その世界を共に体験する中で一人ひとりが輝くという“共鳴する社会”を目指す。



1

閉幕後に「読売EXPOレガシーフォーラム」を開催し、万博遺産の活用法を考えます

2

読売新聞はSDGsの認知向上や理解促進を目指し、2018年から23年まで、計7度の「読売SDGsフォーラム」を開催してきました。24年にはそれを発展させる形で「読売EXPOフォーラム」を実施。万博開幕の直前となる今年2月には、万博プロデューサーや関係者らが登壇し、大阪・関西万博のパビリオンでの体験や興奮を、一足早く来場者や読者に届けました。

日々盛り上がりを見せる大阪・関西万博ですが、第11回目となる今回は、万博の閉幕後に残る有形・無形の遺産、万博レガシーにスポットを当てた「読売EXPOレガシーフォーラム」として、世界各国・企業が挙って準備を進めてきた最新のテクノロジーや価値観を今後どのような形で活用していくのかについて具体的に考えます。



これまでのフォーラムの様子

2025年2月14日開催実績：申し込み総数2,172件、参加数1,080名（オンライン配信含む）

タイトル	読売EXPOレガシーフォーラム ～副題未定～
日時	2025年10月14日もしくは15日を予定 13:30 配信開始 14:00開演～17:00ごろ終演予定
形式・会場	会場観覧・オンライン配信のハイブリッド形式 ●会場は大阪市内を予定
名義	主催／読売新聞社 後援／2025年日本国際博覧会協会、関西経済連合会、 大阪経済同友会、大阪商工会議所、大阪府、大阪市 ほか
定員	会場観覧：150人程度 オンライン配信：1,000人程度（いずれも応募多数の場合は抽選）
参加費	無料
その他	後日（開幕直前の11月中旬を予定）採録特集を新聞・Webで掲載

※開催日時は登壇者、協賛社、その他会場の都合などにより前後する場合があります。
※内容、構成については今後変更になる場合があります

14:00 ～ 14:10 (10分)	開会あいさつ …万博関係者等を想定
14:10 ～ 14:40 (30分)	トークセッション・対談①
14:40 ～ 14:55 (15分)	事例紹介・講演①
14:55 ～ 15:25 (30分)	トークセッション・対談②
休憩 (10分)	
15:35 ～ 15:50 (15分)	事例紹介・講演②
15:50 ～ 16:20 (30分)	トークセッション・対談③

※内容、構成については今後変更になる場合があります

①トークセッション・対談

複数登壇者

複数の登壇者で意見を交わし合いながら、万博開催を通じて見えてきた課題や可能性などについて考えます（30-40分程度）

<展開例>

- ・ 民間パビリオン出展企業関係者らによる万博の振り返り
- ・ シグネチャーパビリオンプロデューサーと協賛企業代表の対談
- ・ 未来事業ショーケース出展企業同士でのトークセッションなど

②事例紹介・講演

単独登壇

大阪・関西万博を振り返り、各企業の取り組みを改めて紹介し、この価値を今後はどうつなげてゆくのか、会場や視聴者に発信します（10-15分程度）

<展開例>

- ・ 開催を通じて見えてきた課題と可能性
- ・ 国内外の過去の万博におけるレガシー事例の紹介
- ・ 次世代にどうつなげるか
- ・ 2040年、2050年に向けた「次の問い」の種をどうまくかなど

①トークセッション・対談

万博から始まる共鳴～ウェルビーイングなまちづくり～

(2025年2月「読売EXPOフォーラム」)

大阪・関西万博「Better Co-Being」パビリオンのプロデューサーを務める宮田裕章・慶應義塾大学教授と、その宮田氏との共同プロジェクトの企画・開発責任者である株式会社大林組の船橋氏が、万博に向けて大林組が開発したアプリの制作意図や、「万博から始まる共鳴」を未来の社会にどうつなげるかなどについてトークセッション形式で紹介しました。進行は読売テレビ澤口実歩アナウンサー。



アーカイブ 



②事例紹介・講演

森羅万象をデジタル化する～リアルな時空を未来へ～

(2024年3月、9月「読売EXPOフォーラム」)

クモノスコーポレーション 中庭和秀代表取締役社長が、「森羅万象をデジタル化する」というコーポレートミッションの下、文化財や歴史的建造物、さらには街全体まで、様々なものをデジタル化してきた同社の技術を紹介。この技術を生かし、大阪・関西万博の全てのパビリオンをデジタル化し、1000年後の未来まで伝えるという思いを語りました。



アーカイブ 



挑む、万博

[illegible]

**3 国内初となる水素燃料電池船
旅客運航を実現**

水素燃料電池船は、水素と酸素を燃料として発電する。発電時に排気する水は、船内での生活排水として再利用できる。また、騒音も少ない。水素燃料電池船は、水素を燃料とするため、水素の供給体制を整える必要がある。水素は、水素製造・供給事業者から供給される。水素製造・供給事業者は、水素製造・供給設備を整える必要がある。水素製造・供給設備は、水素製造・供給設備を整える必要がある。水素製造・供給設備は、水素製造・供給設備を整える必要がある。

主催：読売新聞社 協力：読売テレビ 後援：公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 日本経済団体連合会 関西経済連合会 日本商工会議所 経済同友会 大阪府 大阪市 キヤッシュレス推進協議会

今年10月10日、国際XPOチームで再び万博へが
 け、バウリングプロモーションや音楽会の開催が、万
 博に合わせた約100人の人間をやりとりした。

販売テレビ
総額 30代子アナウンサー



協賛・AstraZeneca Iwatani 大塚製薬 KUMONOS PASONA PEI 株式会社 三井物産 muData ROHTO 資生堂グループによって世界が笑顔になる

▲2024年10月13日 読売新聞朝刊（大阪本社版）

読売EXPOフォーラム 2025 共鳴するいのち

[illegible][illegible]

多様な価値観の気づきへ
山口 藤子先生は、この経験から、
バリエーション、本質的価値の
見えかたの気づき、かた
いかに伝えるか、その
重要性を、本質的価値
の見えるように伝える
重要性を、本質的価値
の見えるように伝える
重要性を、本質的価値
の見えるように伝える

副専任 一色

万博から始まる共鳴 ※
くウルビーイングなまちづくり
豊田 裕隆
「共鳴」がもたらす豊かな社会

[illegible][illegible]

大塚・関西万博 開幕1ヶ月前にあたって

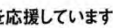
公益財団法人国際万博振興財団 会長 松本 正義

これまで経緯は、大塚・関西万博の推進活動、そして開催が決定して以降、大塚・万博、日本経済振興会などを中心に、大塚市の関係者に向けて万博の魅力を伝え、万博の開催までの1年と半、万博の夢と希望の国に訴えてきたことと大塚市を推進する大塚万博実行委員会、万博の事務局、阪神・東神戸・西神戸の3つの万博実行委員会、そして大塚市と大塚万博実行委員会との連携のデザインについて、ランニング・プログラム等の準備が完了し、国境のみなぎりを日本経済振興会、阪神・東神戸・西神戸の3つの万博実行委員会のメンバーがサポートしてプロットアップ。夏月、冬のふもとに大塚万博の会場を巡ることを楽しみながら

[illegible][illegible]

主催：財団法人日本経済連合会 協力：財団法人日本経済連合会 後援：公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 関西経済連合会 大阪商工会議所 関西経済同友会 大阪商工 大阪市











開幕まで **1 か月**

わたしたちは **大阪・関西万博** を応援しています

▲2025年3月13日 読売新聞朝刊（全国版）

～万博から未来へ～

[illegible][illegible][illegible]

2025年大隈・関西万博の開業まで、いよいよ未来について考えよと、一読売E×UPOフォーラム北区のグランドグリーン大隈で開かれました。テーマは、具体的な事例を交えながら万博の魅力を疑問もなく解る万博への期待を膨らませました。

[illegible][illegible]

未来の「働き方」のデザイン

「働き方改革」の推進は、企業にとっても、社会にとっても、大きな課題である。その解決には、企業と社会の両面からアプローチが必要である。本誌では、企業側と社会側の両方から、未来の「働き方」をデザインするためのヒントを提供する。

企業側からは、働き方改革の推進に向けた取り組みや、その効果について紹介する。社会側からは、働き方改革の推進に向けた取り組みや、その効果について紹介する。

写真：佐藤 孝一

と11か月、万博開催の準備や見とくろ、そのための2255万博から来客へ」が2月14日、大阪市プロデューサー、協賛企業の関係者ら8人、会場とオンラインを合わせた約1200人を視聴し、

[illegible][illegible][illegible]

EXPO forum

協賛: Iwatani 大阪公立大学 主 林 組 PASONA MUEG 立命館大学



水素で夢を実現。



このQRコード
をスキャン

2025年大阪・関西万博
水素の船から見える未来

小さな夢の積み重ねの先にこそ、大きな夢がある。
世界が思い描いた、カーボンニュートラル社会。
その実現を信じ、私たちは切り拓いた。
水素をつくり、はこび、つかう。
それは、化石燃料に変わる新時代に向けた、大きなチャレンジ。
一つ一つの取り組みが実を結び、夢への軌跡を描いていく。
いざ世界は、注目している。
新たなエネルギー時代の到来を。
いざ世界は、信じている。
脱炭素社会の実現を。
そして2025年、水素がエネルギーとして感じられる時が来た。
人間の夢が、大きく動き出す。
水素でつなぐ人、と世界と、そして、夢を。

2025年大阪・関西万博
EXPO 2025

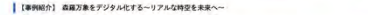
万博会場は、
2025年大阪・関西万博を
実現しています。

Iwatani
新日鐵住金株式会社

また、これまでの議論は疑問あり、それゆえに公を分け、時には力の差となる役割を果たしてきました。しかし、つなかりの中で共に生きる社会においては、「広がりながら、つなげていく」ということが象徴的に重要な役割なのではないか。そう考えた結果、天井も壁もない、森そのものと駆け合うようなパビリオンになりました。

面のときは面のときで、夜は夜で、訪れた人は違う体験をすることになります。屋敷がないことを心配される方は多いでしょうが、何も体験の一部として心を動かされるようなものを作ろうと考えています。Co-being、共に生きるという感覚をこの中で体験しながら、一人一人がそこに共鳴し、未来につながっていく体験をしていただくということです。

この方向は、誰かが何かを実現するという以上に、未来につながる一つのきっかけの場になるということと思っています。ここに来てくださった人たちが未来を創る、あるいは一緒に何かを作る。会費が買われるのだから、未来につながっていくものが作られる。すでに実現しているやけどしうた。一時的に企業や財団を通じて、むしろの状況。新しい未来につながるようなビジネスを作っていくことも一つです。ただ、それ以上に子どもたちを含めた未来創る人たちが、未来の多様な可能性を感じながら感動し、ワクワクして次の時代を作る。そういう対話の場になると思っています。



■タモ/スコーポレーション株式会社 代表取締役社長 中野 典義 氏

高橋直也生まれ。1979年、阪神通商大賞品の専攻免許をとり卒業。『流れないものを流す』をモットーに、多数の特許技術を開発して高橋のデジタル事業をサポートし、日本では唯一3次元空間をリアルタイムに可視化する、国産で最先端のクラウド型にもプラットフォームを置き、日本1位約90%の市場を占める。大阪・関西万博では16ヵ国協賛単位、第1号協賛単位も務めた。30周年を以て合併後の基盤整理を推進。国庫に向けて金10億円を返却予定に。パナソニック方面の展開を目指す。

その後、修理工事はとても難しく、徹底的な状況をデジタルデータ化してコミュニケーションするの必要がありました。それを行ったのが弊社です。11年の東日本大震災に際して福島第一原子力発電所の事故の際も、弊社の技術で原発内の事故状況をリアルタイムに3次元化し、復旧・復旧に活用されました。15年にネパールの大震災があった時には、現地に派遣に行っています。なぜ弊社が復興支援のためにまず駆けつけるのか。それは弊社が1995年、阪神・淡路大震災の復興支援のため大阪府東淀川区で創業した会社だからです。

「森万葉をデジタル化する」というヨーロッパミッションの下、文化財や歴史建造物、スポーツ施設。さらには音楽会場まで、3000ヶ所を超える標本もをデジタル化してきました。360度カメラで撮影しながら1秒間に1200万画素とミリ精度で計測するため、対象物をリアルに感じながら、自由視点で鑑賞することができます。体験をゆめれば、たとえば新羅・唐津にある高麗青磁（ホ・リナル青磁）の中を歩けるようなシステムが、さらに前年の小学校時代の画像を重ね合わせ、当時「タイムスリップ」していただくことも可能です。

することが可能になりました。私たちはこの技術を生かして2025年大阪・関西万博の全てのパビリオンをデジタル化し、1000年後の未来まで伝えたいと思っています。



・監 修 読売新聞社
 ・編 考 読売テレビ
 ・監 製 クロムスエーデン・レーション、小豆島ヘルシーランド、住友電気工業、西武レントオール、パソナグループ、村田製作所、リーフ・パブリケーションズ、立命館大学
 ・後 援 大府府、淡木市、関西経済連合会、関西経済同友会、大商工会議、2025年日本国際博覧会協会、関西SDGsプラットフォーム

◀ BACK

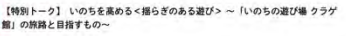
3

500g 中熟2号

2025年大阪・関西万博開催を契機に、その意義や見どころ、その先の未来について考える「次世代フォーラム」が3月11日、立命館大学大宮いばらきキャンパス（大宮府東本町）で開催され、オンラインでも視聴されました。「万博で描く未来社会とGIGA」をテーマに、万博のプロデューサーや企業関係者、学生らが取り組みと未来に描く夢と語り、会議は期待と熱気にあふれました。

- ▶ **【特別トーク】** いのちを築める「揺らぎのある遊び」～いのちの遊び場「クラゲ園」の施設と自然すもの
- ▶ **【特別トーク】** Go-being いのち響き合う中で未来を描こう
- ▶ **【事例紹介】** 森羅万象をデジタル化する－リアルな時空を未来へ～

登場人物の衣装・装束は、イベント時のものです。



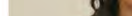
■音楽家、数学者、STEAM教育家/大隈・関西万博テーマ事業プロデューサー 中島 さち子 氏
東京大学理学部数学科卒業。2002年2月に国際芸術オリエンテーション大学で日本人芸術家のメディアを奨励、2010年よりシビエ・作畫に熱し、大隈大学にて芸術家と事業家との関係を。2017年、株式会社yokenを設立、STEAM教育の普及に取り組み。23年のため、関西万博ではテーマ事業「いのちを高める」のプロデューサーを務める。

歌・短歌万博では、遊び・学び・芸術・スポーツを通じて生きる喜びや楽しさを感じ、共に「いのち」を高めていく共同の礎を築くというテーマ事業「いのちを高める」のプロデュースを担当しています。私たちのテーマ館の名前は「いのちの遊び場（うたが）」。いのちや創造性にとって大事なものは「知らざるがある遊び」。種物も生きている。時に言葉で説明しきれないものの中にこそ大事なことがあるのでは——そんな思いのなかから、ウラグとイラストレータが立ち現れてきました。

ラグビーは2階建てで、入り口となる2階へは、いろいろな遊具を備えた丘「プレイマウンテン」を登っていきます。2階は集積と「創造の木」を中心とした、予約なしで入れる「森の遊び場」、世界中のいろんな人の創造性が見られ、皆さんも遊べる空間になります。1階は予約制で、いのちの樹りをテーマにしたシアターなどを楽しんでいます。

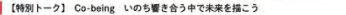
とし売けるものは全て、多種多様な道徳にまみれています。社会や文化の中でそれを十分に発展できる「創造性の民主化」を目指し、クラフテの発展は、望めない方や見えぬ方、辛い方など、国内外のいろいろな人と一緒に進めています。

がたたくさんのゴミが腐き、そのためにスラムが生まれています。こうしたゴミ・環境問題について考えるきっかけになれば、クワガタでベッドボムルのゴミを築き、館内にツツ子びる大きなアート作品「海月/うみづつ」を宮藤さんと共に作りま。これには世界中の子どもたち、大人たちを巻き込んでいきたいと思っています。また先日は大塚で開催された「大和川・石狩・リリーフプロジェクト」に参加し、持ち寄った読書や歌などしながらゴミをずるという活動もしました。いろんな活動が重なると、社会を動かす一つの大きな力になれるのではないかと考えています。



アパレルでもそんなワークショップが盛んに行われてきましたが、今回、大塚展と特別美術展の併催による「明日の「好き」が世界を動かす」というワークショップをしました。自分の「好き」をベースにした15分間の個性派ワークショップで、子どもたちが企画運営したものです。クラゲ展「五郎の遊び」で、実際に彼らにやってもらおうと考えています。万博という大きな機会に世界と対話する体験をしてほしい。それをきっかけにみんなが考えたり、動き出したりすることに期待しています。

バーチャルクラゲ館の運営をみんなで考えたりと、「つくる」に参画していただける仕組みをたくさん考えています。



■東京に筑波大学 教授 / 大阪・関西万博テーマ事業プロデューサー 宮田 和寿 氏

1978年生まれ。専門はデザインサイエンス、科学コミュニケーション、Vela Co-creation、データサイエンスなどの科学を駆使して社会変革に特化した、建築もメディアもする（あるいは両方とも）研究の活動家です。専門誌として週刊1000円超のフリーペーパーがあるNational Creative Database、LINEで世界初の雑誌ゼロラ本出版などなど。また海外にも国内よりもっと早くから「未来志向」に取り組むことが多く、アメリカで行くことで、行政や経済関係、文化、生活など様々なステークホルダーと連携した、新しい社会ビジョンを描き、宮田氏が提言する社会ビジョンの1つは、人々の心を動かさねばならない多様な社会を創り、その境界を共に広げるとする中で「人々が共有したい」という共通の世界観である。

これまでの方は経済発展を示すことが優先され、人工知能を中心に置かれていました。人間は特に産業革命以降、経済の中にどぶとどみ込まれました。国も企業も企業も、いろいろなものが経済社会性を経営してきました。しかしこれからは、一人一人が賢いという未来をどう作るのかを考えたいかなければなりません。どういう未来を作るのかという問いを立て、その上で課題解決策を持つべきです。それがこれからの時代の姿なのではないでしょうか。

今の万葉には大層な意味ではなく、*ツガガ*の象徴として「*ツガ*の森」としての森を中心にも置きました。ものごまみ返し、*ツガ*がけがけい。御年であるだけでなく生態系の一部として生きる森の一つ、ツガガの森の中で未来を共に作るという万葉の理念、大げげではない「*ツガ*の森」を感得するものとしたい意識の一つ、この森は一つの物語になっている。

「前ごとに『文化』『コミュニティとモビリティ』『食と暮らし』『健康とウェルビーイング』『学びと遊び』『平和と人権』『地球の未来と生物多様性』と続き、最後がまとめのワークです。サステナビリティ（持続可能性）というと環境問題ばかりが目に
目されるのですが、それ以外にも大事な『未来の軸』を日本から6つ出し、その中でSDGsの先を考えています。万博の府営に
重要な意義があるのでないでしょうかと考えています」



【事例紹介】「繊維力学をアソビ化する～ZUZO天板・関西力博を木米へ～」

【クロストーク1】「いのち輝く『森と人』の共鳴のかたち～脱炭素で健康を守る」

人と地球の未来を象徴する「森」

第四 気候変動は本当に解決できるのかという話がありますが、実は人類はフロンガス問題を解決しています。数十年前、当時の科学者はオゾン層破壊による被害を正確に予測、最初にフロンガスと特定し、経済活動をおこなうよう代替剤を開発しました。それによってオゾン層は今、ほとんど悪化していません。近頃は破壊されてきたCO₂問題も、気候変動や「地球材料調達から発生するに排出される温室効果ガスをCO₂に換算して表示する」カーボンフットプリントによって可視化されています。未来に向かう手がかりは明確化されてきているのです。

人と地球の未来を象徴する「森」

地球と人のより良い未来のために

司会進行・コーディネーター

読者テレビアナウンサー

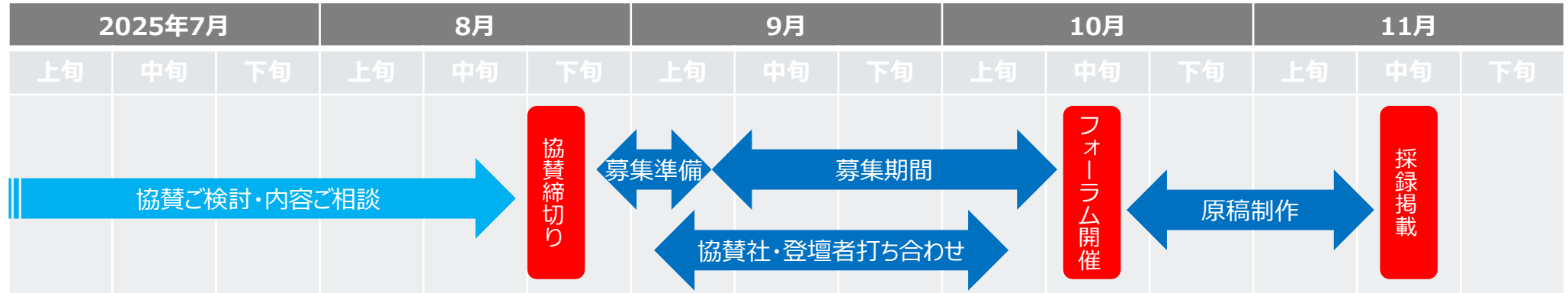
「すーまたん！」プロ野球中継ペンタリポートなど、スポーツディレクターも兼任している。

＜注 意＞ 読者新聞社
＜解 説＞ アストラが主力、河野産業、大林組、タミクス・コーポレーション、パソナグループ、フタバマフーズ、村田製作所、
ロート製薬、医薬品流通などによって我が国の医療を解決するためのコンソーシアム
＜出 版＞ 読者新聞社
＜後 援＞ 公益社団法人 J F 2 日本国際博覧会協会、日本経済団体連合会、関西経済連合会、日本商工労働者、経済同友会、大阪府、大阪府、キャッシュレス推進協議会

読売EXPOフォーラム

[illegible][illegible][illegible]

■ 2025年10月開催 ※登壇者、協賛社、その他会場の都合などにより、前後する場合があります。



■ 募集告知（過去事例）＜一例＞

読売EXPOフォーラム2025
～万博から未来へ～

オリジナル
QUOカード
2000円分を
10名に
プレゼント!

2月14日 金
14:00-17:00 (予定)
オンライン視聴可能 (要申込)

参加方法
読売EXPOフォーラム2025
TEL:06-6364-9005
C:03-6881-1700

協賛社: iwatani, 大塚製作所, 天竺, PASONA, MUFG, 京大

▲新聞広告（半5段）

読売EXPOフォーラム2025
～万博から未来へ～

オリジナル
QUOカード
2000円分を
10名に
プレゼント!

2月14日 金
14:00-17:00 (予定)
オンライン視聴可能 (要申込)

参加方法
読売EXPOフォーラム2025
TEL:06-6364-9005
C:03-6881-1700

協賛社: iwatani, 大塚製作所, 天竺, PASONA, MUFG, 京大

▲新聞広告（全5段）

読売新聞 メディアデザイン ×

【参加者の中から抽選でQUOカードを10人に】
2025年大阪・関西万博開幕目前! テーマ事業プロデューサーや識者を迎え、万博の意義や見どころ、その先の未来について考えます。

読売EXPOフォーラム2025
2月13日(木)23時55分

参加方法
読売EXPOフォーラム2025
TEL:06-6364-9005
C:03-6881-1700

読売EXPOフォーラム2025 参加申込み受付中!

▲Meta広告

読売新聞 メディアデザイン ×

【参加者の中から抽選でQUOカードを10人に】
2025年大阪・関西万博開幕目前! テーマ事業プロデューサーや識者を迎え、万博の意義や見どころ、その先の未来について考えます。

読売EXPOフォーラム2025
2月13日(木)23時55分

参加方法
読売EXPOフォーラム2025
TEL:06-6364-9005
C:03-6881-1700

読売EXPOフォーラム2025 参加申込み受付中!

▲Meta広告

イベントの最新情報、ご協賛メニューなどの詳細は、

弊社貴社担当営業 または、

読売新聞大阪本社 ソリューション開発部 (o-bp@yomiuri.com)

にお問い合わせください